

枕草子『春はあけぼの』定期テスト対策問題（問題編）

組 番 氏 名

／100点

本文

春は、あけぼの。やうやう〔①〕白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、紫だちたる〔②〕雲の細くたなびきたる。

夏は、夜。月のころはさらなり〔③〕、闇もなほ〔④〕、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし〔⑤〕。雨など降るもをかし。

秋は、夕暮れ。夕日のさして山の端いと近う〔⑥〕なりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへ〔⑦〕あはれなり〔⑧〕。まいて〔⑨〕雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず〔⑩〕。

冬は、つとめて〔⑪〕。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでも〔⑫〕いと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るも、いとつきづきし〔⑬〕。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになりて、わろし〔⑭〕。

設問

1. 現代語訳

- 傍線部〔①〕「やうやう」の意味を答えよ。
- 傍線部〔⑤〕「をかし」を、ここでの意味にふさわしく現代語訳せよ。
- 傍線部〔⑧〕「あはれなり」を、ここでの意味にふさわしく現代語訳せよ。
- 傍線部〔⑩〕「はた言ふべきにあらず」を現代語訳せよ。

2. 文法・敬語

- 傍線部〔②〕「紫だちたる」の「たる」、〔⑬〕の直前にもある完了・存続の助動詞「たり」について、ここでの「たる」の意味（完了か存続か）を答えよ。
- 傍線部〔⑦〕「さへ」の意味（用法）を答えよ。
- 「春は、あけぼの。」「夏は、夜。」のように、名詞（体言）で文を終える表現技法を何というか答えよ。
- この章段で、係助詞「こそ」を補ったとき、結びの語はどのような活用形になるか。係り結びの法則を踏まえて答えよ。

3. 語句

9. 傍線部〔③〕「さらなり」の意味を答えよ。
10. 傍線部〔⑪〕「つとめて」の意味を答えよ。
11. 傍線部〔⑬〕「つきづきし」の意味を答えよ。
12. 傍線部〔⑭〕「わろし」の意味を答えよ。

4. 内容理解

13. 作者は四季それぞれについて、最も趣のある時間帯を挙げている。春・夏・秋・冬それぞれにふさわしいとされた時間帯を、本文の語で答えよ。

5. 文学史

14. 『枕草子』の作者名と、この作品のジャンル（文学の種類）を答えよ。